



アルミ水素 楽しく学ぶ

福野小で企業が講座

【南砺】 アルミじみから水素をつくるベンチャー企業、アルハイテック（高岡市）の出前講座が29日、南砺市福野小学校で開かれた。4年生97人が富山発の次世代エネルギーとして注目される「アルミ水素」に理解を深めた。

同校4年生は総合的な学習の時間で環境問題を調べている。講座は授業の一環として企画し、同社の水木伸明社長と企画営業部の青山昌志さんが講師を務めた。

青山さんは、紙パックから取り出したアルミ箔をビーカーに入れ、アルカリ水溶液と反応させる実験を披露。発生させた水素を燃料電池を載せたミニカーに入れ、車を走らせた。児童もミニカーを操縦し、アルミから水素が生み出される過程を楽しく学んだ。

年代悠真君は「水素をつくり出せることが分かって勉強になった」と話した。